



担当:臨床工学科(循環器医師監修サポート)

＊ ＊ 心臓カテーテル治療とは？ ＊ ＊

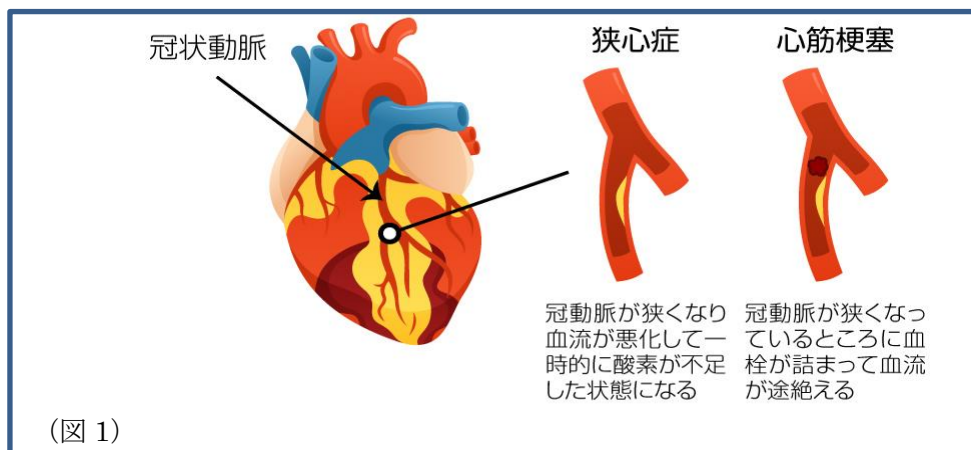
心臓の血管(冠動脈)がコレステロールなどによって詰まったり、狭くなることで起きる疾患(狭心症や心筋梗塞)に対する治療法の一つです。

手首や足の付け根からカテーテルと呼ばれる細い管を血管内に挿入し、狭くなった血管を風船治療やステント治療で血管を広げます。

【狭心症、心筋梗塞とは】

心臓の筋肉(心筋)に血液を送る3本の冠動脈が狭くなったり、塞がったりして、心筋が酸素不足に陥る状態を虚血性心疾患と呼びます。

虚血性心疾患には大きく分けて、狭心症、心筋梗塞の2つの状態(図1)があります。



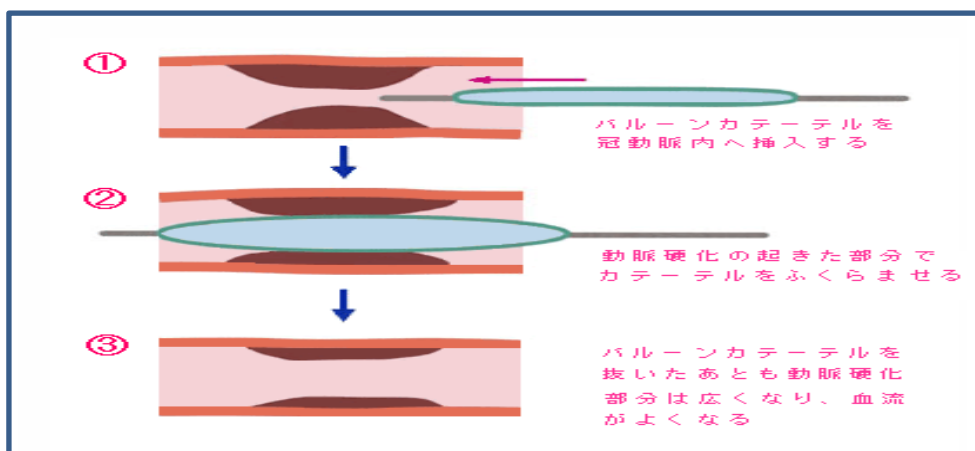
冠動脈疾患の治療法のいろいろ

今回、心臓カテーテルでの治療法を紹介しましたが、冠動脈の障害・狭窄の程度や現病歴など、様々な要因によって患者さんにあった治療方法が選択されます。

- ・内科的治療: 「薬物治療」、「経皮的動脈形成術(風船・ステント治療)」
- ・外科的治療: 「冠動脈バイパス手術」

●風船治療

先端に風船(バルーン)をつけた極細のカテーテルを狭くなった冠動脈へ進め、この風船を膨らめることで狭くなっている冠動脈も広げる治療です。



●ステント治療

ステンレスなどの金属でできた小さい網目模様の筒を、風船治療に使う風船でふくらませ狭窄部位でステントを拡張する治療です。



「ステントサイズ」

直径： 2.25～5.0mm 程度

長さ： 5～30mm 程度

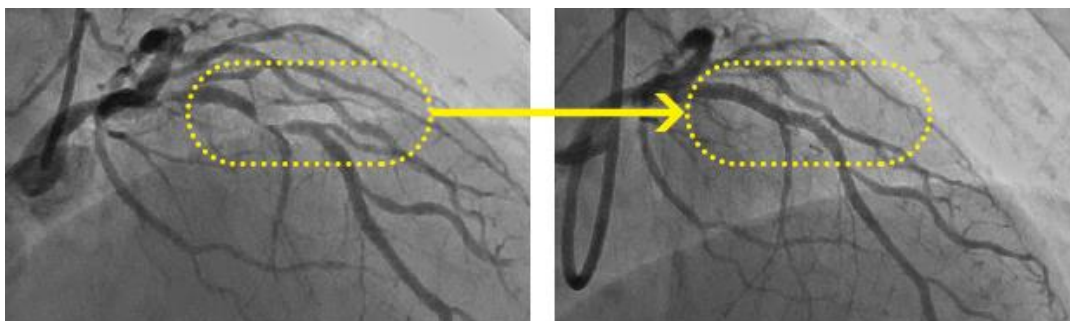
病変の血管径、長さによってサイズは様々です。

風船治療はバルーンによって動脈硬化部位を広げるだけですが、ステントを使って広げると、ステントが支え棒のようになって固定され、しっかりと固定することができます。

風船治療では、せっかく狭い部分が広がっても 30～40%程度の患者さんで再狭窄(再び狭くなること)がおこります。

ステント治療では、再狭窄は 10～15%前後になります。

●風船・ステント治療後の画像



治療前

治療後

***取り上げて欲しい病気や検査、質問等がありましたら、投書箱やよろず相談窓口までお気軽に声をかけてください。企画の参考にさせていただきます。**

【監修:ふれあい編集部】